

一般財団法人千葉県観光公社

平成 28 年度事業報告

I 事業概要

公社事業の実施にあつては、施設利用者の立場に立った親しみやすく真心のこもったサービスの提供に努め、より多くの利用者に憩いと安らぎの場を提供し、地域振興及び地域経済の活性化に貢献することを目的として、公社施設である国民宿舎サンライズ九十九里及び千葉県観光物産センターレストハウスパテオの管理運営と、千葉県から指定管理者として引き続き管理を受託した内浦山県民の森及び館山野鳥の森の管理運営を実施した。

II 事業の実施状況

(1) 国民宿舎サンライズ九十九里

本事業は、28年7月13日に開業20周年を迎えることから、当該年度をアニバーサリーイヤーとして位置づけ、年度当初より地元住民や長年利用していただいたリピーターへの感謝の意を込めた様々な記念イベントの実施や、謝恩記念宿泊プラン・ランチなどの限定販売などを通じ、従前にも増して各種媒体へ広報宣伝を積極的に働きかけ、収益の増加を図った。

しかしながら、4月14日に発生した熊本地震の観光産業への被害を早期復興するために実施した「九州ふっこう割」の煽りを受け、東日本全体の観光客が大きく減少したこと、さらに、7月以降頻発した台風による宿泊の相次ぐキャンセル、特に台風9号にあつては千葉県南房総・外房地域を直撃し、サンライズの建物にも大きな被害が生じるなど、サンライズの上半期の宿泊者数は大きく減少した。このため下半期においては、宿泊者の増加策への取り組みはもとより、昼食など日帰り利用客への積極的な営業活動による集客増加を図るとともに、民放旅番組での施設紹介などによるネット宿泊予約の増加が奏効し、結果として前年度と比較して808人減の宿泊者数66,988人を確保した。

事業収支において、収益は、宿泊の消費単価が向上したことにより宿泊料は9,532千円の増となったほか、日帰り宴会利用者数が過去最高を記録したが、前述の熊本地震に起因する県観光需要の低迷や、繁忙期における台風などによる施設利用者の減少等が大きく影響し、最終的に対前年比146千円微増の1,136,897千円となった。

また、費用については、宴会場等の女子トイレの洋式化や客室の畳表替え、また、館内の適正な維持管理を目的とした中央監視盤の刷新工事や照明器具LED化の促進など、利用客の利便性・安全性を最優先に考えた改修工事等を積極的に実施した結果、対前年比15,149千円の増、1,103,125千円となり、損益としては対前年比15,001千円の減、33,772千円を確保した。

(2) 内浦山県民の森

内浦山県民の森の入園者数は 155,076 人であり、昨年度に比べて 6,380 人の減となった。また、森の宿せせらぎの宿泊利用者数は 6,064 人で昨年度に比べて 930 人の減となった。

事業収入は 97,777 千円で、昨年度に比べて 9,011 千円の減であり、これは千葉県からの指定管理受託料収入の減と、8~9 月期の週末に度々台風が接近し、せせらぎ宿泊者の予約キャンセルが相次いだことが主な要因である。

(3) 館山野鳥の森

館山野鳥の森入園者数は 77,664 人で、昨年度に比べて 229 人の増となった。

事業収入 21,390 千円で、対前年比 300 千円の減となり、これは指定管理受託料の減と自主事業である体験教室の利用者減が主な要因である。

(4) レストハウスパテオ

レストハウスパテオは、引き続き(株)OKT にレストラン業務を委託し、千葉ポートパーク利用者の憩いの場として、イタリアンレストラン『ポルトイタリアーナ』を管理運営し、利用者数は 25,327 人で、対前年比 2,554 人の増となった。

(5) 千葉県観光物産センター

当センターの老朽化等に伴い、当該事業継続の是非について千葉県と協議を進める中、事業収入は 5,438 千円で、対前年比 1,143 千円の減となった。

以上が 28 年度の公社の主な事業の実施状況であり、公社全体としては 5,920 千円の利益を確保できることとなった。

なお、決算状況の概要及び施設別の利用状況については別表のとおり。

別表 【決算状況の概要】

(単位：円)

経常増減の部	金額
経常収益	
受託料	55,462,964
単独収益	1,162,379,523
営業外収益	492,607
経常収益合計	1,218,335,094

経常費用	金額
事業費	1,232,089,829
管理費	4,650,799
営業外費用	3,768,086
経常費用合計	1,240,508,714

当期経常増減額 ①	▲22,173,620
-----------	-------------

経常外増減の部	金額
経常外収益	47,034,035
経常外費用	18,940,198
当期経常外増減額 ②	28,093,837

当期一般正味財産増減額 ①+②	5,920,217
-----------------	-----------

別表 【施設別の利用状況】

(1) 国民宿舎サンライズ九十九里

区分		28年度	27年度	比較	26年度
利用内訳	宿泊者	66,988	67,796	▲ 808	68,689
	会議室・休憩	15,609	19,820	▲ 4,211	17,950
	多目的ホール	8,363	10,379	▲ 2,016	10,333
	庭球場	4,547	5,600	▲ 1,053	5,097
	水泳場	88,321	87,159	1,162	81,974
	計	183,828	190,754	▲ 6,926	184,043
事業収入		1,136,897	1,136,751	146	1,156,647

(2) 内浦山県民の森(森の宿せせらぎを含む)

区分		28年度	27年度	比較	26年度
利用内訳	入園者	155,076	161,456	▲ 6,380	161,346
	せせらぎ	6,064	6,994	▲ 930	6,715
	ログキャビン	5,402	5,809	▲ 407	5,432
	その他	18,541	22,652	▲ 4,111	31,419
	施設利用者計	30,007	35,455	▲ 5,448	43,566
事業収入	単独収入	60,833	69,382	▲ 8,549	65,689
	受託料収入	36,944	37,407	▲ 463	37,870
	計	97,777	106,789	▲ 9,012	103,559

(3) 館山野鳥の森

区分		28年度	27年度	比較	26年度
利用内訳	入園者	77,664	77,435	229	76,073
事業収入	単独収入	2,872	3,080	▲ 208	2,490
	受託料収入	18,519	18,611	▲ 92	18,704
	計	21,391	21,691	▲ 300	21,194